

2017 年 12 月

カラマツ由来フラボノイド類価格表

長良サイエンス株式会社
〒501-1121 岐阜市古市場 840
Tel 058-234-4257, Fax 058-234-4724
E-mail:nagara@nsgifu.jp, http://www.nsgifu.jp

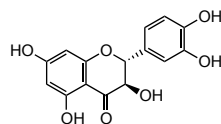
Taxifolin(タキシフォリン)

Taxifolin はカラマツの主要フラボノイドの一種であり、アンモニアやホルムアルデヒドといった有害ガスの吸着材として利用¹の他に、抗酸化作用²、遺伝子発現制御作用³等があることが示されている。加えて、アミロイドβの脳血管への蓄積抑制作用が明らかとなり、アルツハイマー病の新規治療薬としても期待されている⁴。しかし、光学活性フラバノールである Taxifolin の構造は比較的不安定で、加熱により2位の立体化学の異性化が進行し、酸性条件下で加熱すると3位ヒドロキシ基も異性化することが知られ⁵、取り扱いに注意を要する。

弊社では、それらを光学活性体として純度高く単離する製法を確立し、純度 $\geq 99\%$ 、光学純度 $\geq 99\%ee$ の高純度試薬として販売を開始した。

1) 藤本 英人ほか2名 特開2003-245543 2) 中山 勉ほか2名 特開平6-248267 3) Lee, S. B.; Cha, K. H.; Selenge, D.; Solongo, A.; Nho, C. W. *Biol. Pharm. Bull.* **2007**, *30*(6), 1074–1079. 4) Saito, S.; Yamamoto, Y.; Maki, T.; Hattori, Y.; Ito, H.; Mizuno, K.; Harada-Shiba M.; Kalaria R. N.; Fukushima, M.; Takahashi, R.; Ihara, M. *Acta Neuropathologica Communications* **2017**, *5*, 5–26. 5) Kiehlmann, E.; Li, E. P. M. *J. Nat. Prod.* **1995**, *58*(3), 450–455.

Source	保存方法	製品名・分子式=分子量・〔CAS番号〕	純度	コード番号	定価(円、税別)
カラマツ larch	-20 °C	(+)· <i>trans</i> -Taxifolin C ₁₅ H ₁₂ O ₇ nH ₂ O = 304.25 (anhydrous basis) [480-18-2]	≥99%(HPLC)	NS510102	10mg 12000
			≥99%ee (HPLC)	NS510103	100mg 24000



(+)·*trans*-Taxifolin